

2014年度 前期		リフレクションペーパー					
学科名	建築・デザイン学科						
科目名	物理学 I						
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	1年前期		
必修・選択の別	必修科目(建築工学コース)/選択科目(建築コース)/選択科目(デザインコース)						
担当者	中野 吉正						
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・速度と加速度の定義を正確に知り、実生活の中で遭遇する現象と関連づけて説明する。 ・重力による物体の自由落下や放物運動を数式やことばで説明する。 ・単振動と単振り子についての運動方程式をたてるとともに、それらの解の特徴を知る。 ・保存力とポテンシャルの関係を数式やことばで説明する。 ・万有引力による天体の運動を数式やことばで説明する。 ・慣性モーメントの定義を正確に知り、その物理的な意味を数式やことばで説明する。 						
日程と内容	4/ 7 導入, 成績評価の方法, 力学の概容 4/14 関数とグラフ, スカラーとベクトル 4/21 ベクトルの和と差, ベクトルの成分 4/28 速度, 演習(グラフの作図) 5/12 種々の運動(等加速度運動, 等速円運動, 単振動) 5/19 力とそのつりあい, 実験(力のつりあい) 5/26 運動方程式とその解(放物運動, 等速円運動, 単振動) 6/ 2 単振動(実験), 仕事と運動エネルギー 6/ 9 仕事と運動エネルギーの計算(等加速運動・単振動), 力学的エネルギーの保存則 6/16 力学的エネルギー保存の例, 万有引力による運動 6/23 剛体のつりあい(1) 力のつりあい 6/30 剛体のつりあい(2) 力のモーメントのつりあい, 重心 7/ 7 一様な棒のつりあい, 慣性モーメント 7/14 剛体の平面運動 7/21 総合復習 7/28 定期試験						
成績評価基準	定期試験	60%	実技				
	臨時試験		部外評価				
	報告書・レポート		プレゼンテーション				
	課題 演習	40%	計	100%			
授業到達目標の達成度	授業の目標は講義を通しておおむね到達することができた。また、個々の学生の到達度は、課題と定期試験で検証できた。						
反省点	運動方程式の解法については、数学的な準備に割く時間が足りなかったため、より緻密な議論ができなかった。						
来年度の計画	基本的に今年度と同じ計画で実施する。数学的な準備の部分は、予習・復習のためのプリントを配布する予定である。						
授業評価アンケートに対するコメント	この科目にかぎらず、学生に積極的な学習の動機づけを与えることの難しさを、あらためて感じさせられた。						
履修登録者数	32名	定期試験 受験者数	29名	合格者数	26名	合格率	90%